


平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-1	中原区魅力ある区づくり推進事業一般経費	継続	平成14年	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	-			<input checked="" type="checkbox"/> 当初予定事業 <input type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容	-			
目的及び内容	協働推進事業を実施するために、必要な事務用品等の購入、複写品費、区の花シンボルマーク入り封筒の製作、切手の購入を行なう。 また、中原区ガイドマップの増刷し、区内に不慣れな転入者などに配布する。					
予算額	3,815,000 (円)	決算額	3,586,714 (円)	不用額※	228,286 (円)	
※不用の理由	-					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		① 再生紙や写真用紙、プリンタ用インクジェットカートリッジ等の事務用品を購入。 ② 資料送付等に使用する区の花マーク及びアメフトワールドカップロゴ入りの封筒を10,000枚作成。 ③ 区ガイドマップを20,000部(冊子版)、3,000部(大判)作成。 ④ 協働推進事業執行に必要なOA機器(デジタルカメラ等)を購入。			
	(増刷したガイドマップ)		実施時期(開催日/回数等)	通年	参加人数等	-

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 再生紙や写真用紙など、各事業に使用する消耗品を購入することで、円滑な事業執行に寄与した。 区の花パンジーロゴ入りの封筒に、シティセールスの一環として市が支援するアメフトワールドカップロゴを合わせて印刷した。これによりアメフトワールドカップを広報面から支援した。 また区のガイドマップ作成にあたっては、生活ガイドマップ・安心ガイドマップという区民ニーズを反映させている。この結果、前回作成したガイドマップがほぼ配布完了という状況であり評価できる。 OA機器として購入したカメラは、事業の評価などに使用する記録作成に役立っている。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	協働事業の執行に必要な消耗品を引き続き調達する必要がある。また区民ニーズが高いガイドマップの増刷も引き続き行なう必要があるなど、次年度以降も現状どおり事業を実行する。

※ 区民会議からの主な意見


-

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2①	障害者を地域で共に支える区民協働事業	新規	平成18年度	保健福祉サービス課

1 事業概要

事業実施主体	中原区社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会	対象者	区民・障害のある人	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	地域で暮らす人々が、障害のある人を理解し支えていくことができる仕組みづくりを地域の関係機関と協力して作り上げていくことを目的とする。 また、障害者自立支援法実施に伴う相談業務の実態を把握すること、及び中原区の特徴的な「ろう高齢者ミニデイサービス」のPR冊子を作成し、広く地域に周知していくことを内容として実施する。				
予算額	1,796,000(円)	決算額	1,540,391(円)	不用額※	255,609(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	《18年度相談件数()内は月平均》 ・新規面接 611件(51)(身体障害471件 知的障害46件 精神障害92件) ・手帳交付 866件(71)(身体障害449件 知的障害125件 精神障害292件) ・自立支援医療(精神障害)1934件(161) ・自立支援法申請者(サービス利用者)571件 《ろう高齢者ミニデイサービス》 活動報告をまとめ冊子を作成した。			
	(地域での活動をまとめた「なののわ」)	実施時期(開催日/回数等)	—	参加人数等	—

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 区内にリハビリテーション福祉センター等の障害者の施設を多く抱える中原区では、相談対象者が増加傾向にある。相談内容を把握することで、今後、区が行なうべき援助や支援の基礎資料とすることができた。現在策定中の第2次地域福祉計画に的確に反映させる。 また、ろうミニデイサービスを区内・市内にPRすることで家に閉じこもりがちなるろう高齢者の社会参加を呼びかけるきっかけづくりとなるなど一定の効果が得られた。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当初の目的を達成したため終了する。事業により得られた情報は関連事業や窓口での対応に活用する。

※ 区民会議からの主な意見


<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数などからみて、行政としての役割は大きいと感じる。日ごろの心を込めての交流が大切だとも思う。 ・なののわの活動を見学した。閉じこもりがちなるろう高齢者の生き生きとした姿に感銘を受けた。一方で会に参加できない人への手当ても必要だとも思う。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2②	NAKAHARA MUSIC FES. 2006	新規	平成18年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	当初予定事業の中原区音楽ライブ（通称インユニ）の出場者選考方法の一つとしてオーディションを平成17年度から行っている。このオーディションを公開オーディションとし誰もが気軽に音楽イベントを楽しむ事が出来るように音楽イベントとしての性格を併せ持たせ開催した。				
予算額	350,000(円)	決算額	350,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (当日のイベントの様子)	中原平和公園野外音楽堂にて10月29日及び11月19日の2回開催した。合計14組の出場者が質の高いステージを行った。2回目は生憎の雨にも関わらず50名を超える入場があり成功を収めることが出来た。各回で人気投票を行い、1位を獲得したグループは3月4日にクラブチッタで行ったインユニティ2007へ出場し、インユニティでも質の高い演奏で好評を得た。			
		実施時期 (開催日/回数等)	10月29日 11月19日	参加人数等	入場者数：150名 (2回の合計)

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること） 平成17年度からオーディションは行っていたが実行委員の自己資金により運営されていた。同オーディションの音楽イベントとしてのレベルが高い事から予算化し協働にて音楽イベントとして開催する事となった。 従来中原区音楽ライブ実行委員会が主催するイベントはインユニティのみであったが、音楽ライブイベントの回数を2回分増やす事により、気軽に区民が音楽に親しめる場の提供が出来たと共に、ライブに出場するグループの数を増やせる事により区民に活動の成果を発表する場を提供することが出来た。これはより多くの参加者や来場者を確保し、また地域に密着した事業展開を図る上で重要な取組みであった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	独自事業としてのNAKAHARA MUSIC FESは18年度で終了とする。しかし、中原区音楽ライブ開催事業と併せて予算化する事により事業は継続して行う。 今後は地域と一体となった音楽イベントを目指し地元と連携を進めながら開催していく。

※ 区民会議からの主な意見


—

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2③	NAKAHARAクリスマスコンサート	新規	平成18年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	NAKAHARA クリスマスコンサート実行委員会	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	「InUnity」(協働推進事業)や市民ミュージアムでの野外ライブ、ティーンズプロジェクトなどの音楽イベントを支えているスタッフによりライブイベントをつくり、若手による音楽のまちづくりを推進する。市内・区内ミュージシャンの発表の場を創出するとともに、より多くの区民が音楽に触れる機会を創出することも目的とする。コンサートは、市内・区内で活動している若手アーティスト6組によるライブコンサート。				
予算額	667,000(円)	決算額	666,920(円)	不用額※	80(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		区役所5階を会場として、実行委員会が中心となりクリスマスらしい装飾でステージを作り上げた。事前に専用のホームページをつくり、区内小中学校・高校にポスター掲示を依頼した。当日の運営も実行委員会があたった。コンサートは、出演するミュージシャンが司会としても協力。事務局も準備や運営のサポートにあたり、音楽のまちづくりマスコットの着ぐるみをつけ、PRにあたった。併せて、アメフトワールドカップやフロンターレについてチラシを配布してPRに努めた。		
	(出演者「ちょっきんず」のステージ)		実施時期 (開催日/回数等)	12月23日(土)	参加人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 地域における若者の居場所づくり、音楽のまちづくりなど、区が進める施策に合致する重要な取り組みであった。コンサートの実施にあたっては、若者を中心とした実行委員会がしっかりと機能し、進行に支障をきたすことなく運営された。この事業で培ったスキルは、他の音楽事業などへ生かすことができると考える。また、区役所コンサートに来場のなかった高校生や大学生など若い層の来場がみられた。 しかしながら、来場者数は区役所コンサートの半分程度であったことから、PRする時間やPR方法について検討を要する。また、より多くの区民が関心を持って来場するようなしなかけづくり、魅力づくりが必要と考える。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 終了する	若い世代が大勢集まるようなしなかけ、例えば学校対抗、ダンスを採り入れるなどの工夫をする。

※ 区民会議からの主な意見


—

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2④	等々力緑地内パンジー飾花事業	新規	平成18年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	川崎フロンターレの試合に合わせてパンジーでつくったオブジェを等々力プール前広場に飾ること、区の花パンジー及びなかはら20年構想委員会の活動であるパンジーの花回廊づくりを広くアピールする。 川崎フロンターレは今年創立10周年にあたり、ますます注目を集めている。それを活用し、ホームグラウンドである等々力陸上競技場周辺の飾花イベントを通して緑の拠点としての等々力緑地、花回廊づくりの推進の原点となる区の花パンジーを周知する機会とするとともに地域住民間の交流の場を提供する。				
予算額	300,000(円)	決算額	300,000(円)	不用額※	0(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (パンジーを用いたオブジェ)	川崎フロンターレの試合に合わせて等々力緑地内に、委員会が作成したオブジェ(パンジーケーキ)と、大型プランター10基を導入路に設置し、パンジーを広くアピールした。オブジェに使用したパンジーは試合終了後に植栽を行ったが、その植栽の担い手として、地元の小学校3校、市民活動団体、町内会等に依頼することにより、区の花パンジーで地域緑化に貢献した。			
	実施時期(開催日/回数等)	平成18年11月16日から11月26日	参加人数等	350人	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 川崎フロンターレの試合に合わせて、多くの人に区の花パンジーを周知することが出来た。また、このイベントを通してなかはら20年構想委員会の活動であるパンジーの花回廊づくりを広くアピールし、地域住民の交流を推進できたと思われる。 オブジェに使用したパンジーは、試合終了後に地域住民、小学校などと連携して、等々力緑地内に植栽することで、等々力緑地をパンジーの花回廊構想の拠点として整備できた。今後、花回廊づくりを進める中で、より地域の特性を生かし、かつ地域と連携した手法を探る上で重要な取り組みであった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	イベントとしての事業は単発的なものであるが、この事業を通じてパンジーを介した、まちづくりのきっかけは掴めた。今後は、花回廊構想のチラシ等を作成し、区民に配布して、都市計画マスタープランに示された花回廊づくりを推進する。

※ 区民会議からの主な意見


—

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2⑤	区役所高齢者支援課及び市民税課におけるローカウンター設置事業	新規	平成18年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容	—		
目的及び内容	高齢者や車椅子の方にとっても窓口での手続きが行いやすいよう、ローカウンターのない区役所高齢者支援課及び市民税課のカウンターの一部をローカウンターに交換する。				
予算額	970,000(円)	決算額	939,540(円)	不用額※	30,460(円)
※不用の理由	—				
結果・成果	【実施状況・成果物などの写真等】  高齢者支援課のローカウンター		高齢者支援課及び市民税課のカウンターの一部(90cm幅)をローカウンターに交換するための工事を行った。		
	実施時期(開催日/回数等)	平成19年1月	参加人数等	—	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 高齢者支援課及び市民税課において、既存カウンターの一部(90cm幅)をローカウンターに交換した。これにより高齢者、車椅子の方やその介護者にとって、機能の面で便利で快適な区役所の窓口とすることができた。この事業は市民サービスの向上の上で緊急かつ重要な事業であった。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当初の目的が達成されたことから終了する。今後、窓口等で区民ニーズを的確に把握し、ローカウンター導入の必要性を引き続き検討し、改善を図る。

※ 区民会議からの主な意見


—

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2⑥	保健福祉センター音響設備設置事業	継続	平成18年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他 ()	関連事業局・事業内容	—	
目的及び内容	幼児健診などで混雑する区役所別館（旧保健所）1階ロビー及び幼児室にスピーカー設備を設置し、健診や幼児相談等の呼び出しや案内を行う。			
予算額	998,000(円)	決算額	997,080(円)	不用額※ 920(円)
※不用の理由	—			
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  (マイクとアンプ)	保健所1階ロビー及び幼児室にスピーカーを1基ずつ設置し、ワイヤレスマイクによりアンプを介して案内や呼び出しを行えるようにした。アンテナを講堂、ロビー、幼児室に設置し、1階のほぼどこからでもワイヤレスマイクを使用できるようにした。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成19年3月	参加人数等	—

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
健診時や予防接種時、教室開催時等において、保健師がワイヤレスマイクを持って作業をしながら呼び出しや案内したりすることが可能となり、業務の効率化、確実性を図ることが可能となった。 来庁者への案内を的確に行なうことは業務を行なう上で重要である。よってこの事業は緊急かつ重要な事業であった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当初の目的が達成されたことから終了する。

※ 区民会議からの主な意見


—

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2⑦	区役所5階市民活動支援コーナー整備事業	新規	平成18年	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	-		<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局 ・事業内容	市民局・市民活動支援コーナー整備にかかわるガイドラインなど		
目的及び内容	平成19年度当初に事業執行を予定する「市民活動支援サイト構築事業」に関連して、区役所5階の市民活動支援コーナーの浄書機能を移設する。この移設先となる同階倉庫の環境整備として、電源や空調設備を整備する。 また従来の同コーナーは、会議スペースと浄書スペースが同じ場所にあったため、両機能を同時に利用することは困難であり、浄書機能を移設することによりこの問題の解決を目指す。				
予算額	497,000(円)	決算額	496,230(円)	不用額※	770(円)
※不用の理由	-				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  <p>(新しい浄書スペースの様子)</p>		電源整備、空調設備整備を行い、浄書機能を写真のとおり移設した。 これにより平成19年度関連事業執行に備えた環境整備目的を達成した。 また、会議スペースと浄書スペースの分離により、それぞれの機能を独立して利用できるようになった。		
	実施時期 (開催日/回数等)	平成19年3月	参加人数等	-	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 当事業執行により平成19年度事業「市民活動支援サイト構築事業」の執行が円滑に実施できることとなった。また会議スペースと浄書スペースの分離により市民活動支援コーナーがより利用しやすいものなり、当初の事業目的を達成した。 この2点は区として市民活動を支援する上で重要かつ緊急性のある内容であった。今後協働手法による事業展開を推進する上でも、市民活動の支援は重要であり、この点からも区として必要な事業であったといえる。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当事業の目的は達成されたことから終了とする。

※ 区民会議からの主な意見


・入り口の扉をセキュリティと防音をかねてガラス張りにしてはどうか。

平成18年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-2⑧	区役所コンサート音響設備整備事業	新規	平成18年度	総務企画課

1 事業概要

事業実施主体	総務企画課	対象者	区民	<input type="checkbox"/> 当初予定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急対応事業		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()	関連事業局・事業内容				
目的及び内容	現在区役所コンサートで使用しているスピーカーが小さく、2基なことから、後方座席の来客に音が遅れて伝わったり聞きにくかったりしたため、新たに高出力なスピーカーを4基購入し、より快適性の高いコンサートを実施するものである。					
予算額	559,000(円)	決算額	518,700(円)	不用額※	40,300(円)	
※不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】  新規購入のスピーカー	スピーカー4基及びスタンド4基を購入した。				
	実施時期 (開催日/回数等)	平成19年3月	参加人数等	-		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること) 区役所コンサートで安定した音量、音質を提供することが可能となった。また、区役所コンサートだけでなく、今後「こども未来フェスタ」や「健康まつり」等のイベント、区民会議や各種講演会等での活用も見込まれる。様々な事業展開を的確に実施するため、適正規模の音響設備を整備することは重要であり、必要かつ緊急性の高い事業であった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
<input type="checkbox"/> 見直し・改善の上継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続する <input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 終了する	当初の目的を達したことから終了する。

※ 区民会議からの主な意見

-
